

手術に必要な機能満載の床ずれ防止用具

手術室用 すやり

そのまま使うもよし！
切っても曲げても組み合わせてもよし！



すやりは、世界中に販売実績のあるヨーロッパ最大級のユーロフォーム社が製造しています。

床ずれ三大要因（圧力・ずれ力・湿潤）と、手術室で求められる安定、低床、洗浄などの要因とをバランスよく調整しました。

8万回圧縮テストで99%以上の復元率や耐薬品・生理食塩水など、国内でも多数の評価施設から「消耗品の域を超えている」との高評価を得ています。

手術中の床ずれ防止に自信をもってお勧めします。



すやりの主な特長は「こちらです！」

理想的な寝姿勢を維持できます！

高反発ウレタンを研究し尽くして完成したすやりは、最も重い臀部が沈み過ぎないように支えるので、理想的な寝姿勢を維持することが得意です。

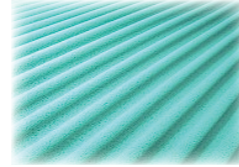
もちろん、適度な反発力ですので、床ずれの原因となる圧力が生じるわけではありません。



温度による硬度変化がありません！

低温で硬くなりやすい低反発ウレタンと違い、温度による硬度変化がほとんどなく、常に安定した性能を維持します。

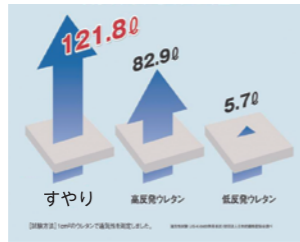
そのため低体温維持を必要とする手術や、室温管理ができない災害現場などでの導入が進められています。



通気性が抜群です！

通気性のテストでは、すやりは他の高反発ウレタンの約1.5倍、低反発ウレタンの約2.1倍の通気性があります。

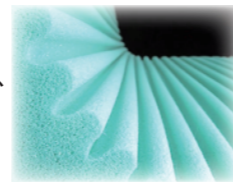
*通気性試験
JIS-K-6400準用B
法日本紡績検査協会にて



丸めたときの歪みを吸収します！

支持台へ取り付けたりするときに丸めても、波がカーブに順応して歪みを吸収します。

ウレタンに歪みが生じると、その部分の圧力やずれ力の分散が悪くなるばかりか、破損の原因となってしまいます。



とことん安全性にこだわりました！

すやりは、人体に危険を与える有害物質が含まれていないことを認証するエコテックス規格で、クラスIを取得しています。

これは、生後36ヶ月未満の乳児が口に含んでも安全という最も高い安全レベルです。



比較的簡単に切ることができます！

必要なサイズや用途、形状に合わせて、自由にカットができます。切りクズはほとんど出ません。

*厚みを薄くすることはできません



商品名	品番	サイズ／重量	定価 (税込)	材質
手術台用すやり	SO5010N	50x190x6cm 重さ: 2.6kg	¥ 55,000	ウレタンフォーム (オーストリア製)
カット用すやり	SO4010N	40x190x6cm 重さ: 2.0kg	¥ 39,600	

* どちらもご自由にカットしてお使いいただくことができます。

医療・介護業界
発売元



アクションジャパン株式会社

〒658-0046 神戸市東灘区御影本町2丁目9-16

アクションジャパンビル

TEL.078-843-5417 FAX.078-843-6817

アクションジャパン

検索



商品についてのお問い合わせやモニター品のご要望は

代表的な低反発ウレタンマットレスとの項目別比較一覧

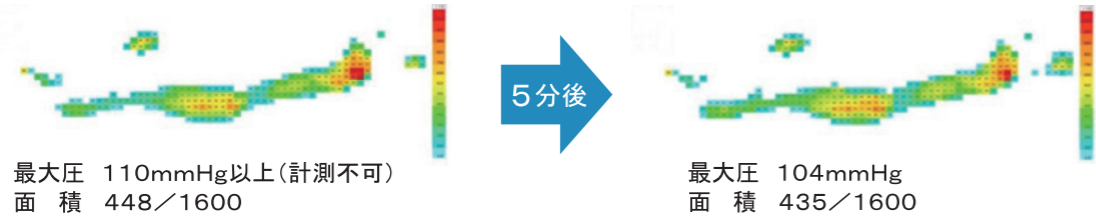
試験・比較項目	すやり	低反発ウレタン
① 圧力分散(仰臥位・室温)	△ 95mmHg	× 測定可能範囲外
① (仰臥位・体温)	○ 82mmHg	○ 78mmHg
① (側臥位・室温)	× 測定可能範囲外	× 測定可能範囲外
① (側臥位・体温)	△ 104mmHg	× 測定可能範囲外
(軽荷重)	○ 24mmHg	○ 23mmHg
② 底づきの限界	○ 19.5kg	△ 7.8kg
③ ずれ力	○ 1.8kg	△ 3.0kg
④ 吸放湿性	○ 吸4.8 放2.3	○ 吸2.9 放1.0
⑤ 復元性	○ 99%	データなし
⑥ 耐熱性(オートクレーブ)	○ 変質なし	○ 変質なし
⑦ 洗浄・消毒の耐久性	○ 変質なし	○ 変質なし
⑧ 水はけ	○ 残水191cc	× 残水335cc
⑨ 切断の容易さ	△ 一部刃物で困難	○ 刃物を問わず可

* すべての試験・比較項目は、完全な再現性と同一の結果を保証するものではありません。
 * 下記表中の○△× は一定の基準において付けていますが、優劣を正しく評価するためのものではありません。

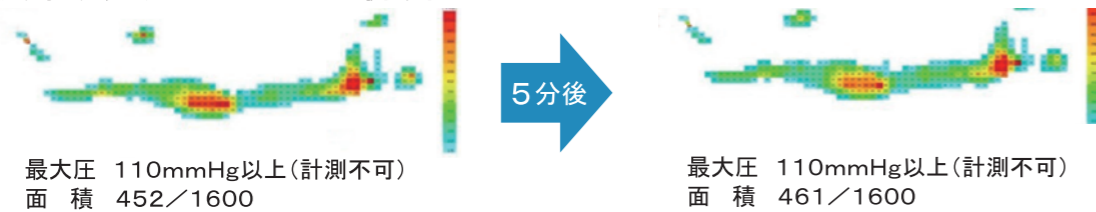
① 圧力分散

・手術台の上にマットレスを設置し、被験者(身長177cm 体重63kg BMI20.3)が仰臥位と側臥位で計測。
 ・圧力測定器の計測限界値は110mmHg。 ・測定したマットレスは、いずれも厚み6cm。

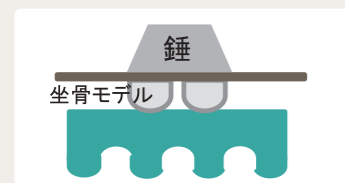
例) すやり側臥位



例) 低反発ウレタンマットレス側臥位

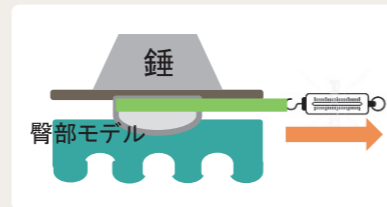


② 底づきの限界



- 38℃にした坐骨モデルを試料に5分間載せる。
 - 底づき(沈み込む余地のない状態)を起こすまで荷重をかける。
 - 底づき時点の荷重を計る。
- * 各5回の測定を行い平均値を記載。外れ値はなく、最大値と最小値の差は200g以下であった。

③ ずれ力



- 各試料の上に不織布を敷き、臀部モデル(総重量18kg)を置く。
 - 臀部モデルを人体を模して38℃とし、設置5分後に計測を行った。
 - 臀部モデルを水平方向に引っ張り、動き出しの荷重を測定する。
- * 各5回の測定を行い平均値を記載。外れ値はなく、最大値と最小値の差は80g以下であった。

④ 吸放湿性(カケンテストセンター)

- すやり、低反発ウレタンマットレスの試料片を絶乾状態として質量を測定した。
- 30℃90%RH下で吸湿させ24時間後の質量を測定した。
- 20℃50%RH下で放湿させ24時間後の質量を測定した。

⑤ 復元性(カケンテストセンター)

- JIS-K-6400-4 B法に基づき、
- すやりを20℃ 湿度50%の環境下でテストを実施した。
 - 圧縮率を元の厚みの50%として、8万回の繰り返しを行なった。
 - 8万回の繰り返し後に、元の厚みと比較して厚さ低減率を算出した。

⑥ 耐熱性

オートクレーブメーカーの協力で、温度135℃ 10分の設定で一連の作業を行った。いずれも変質、変形等を認めなかったが、回数を重ねることで硬化等を起こす可能性があるとのこと。

⑦ 洗浄・消毒の耐久性

WD(洗浄機)にて、洗浄60℃15分、乾燥110℃20分、アルカリ洗剤(0.4%)使用の設定で行ったが、いずれも変形、変質、硬度変化を認めなかった。

⑧ 水はけ

- 各15cm四方の吸水前の重さを計測する。
- それぞれを網台に置き、水が滴る寸前まで吸水させ質量を計測する。
- 上記②「吸水させた質量」より①「元の重さ」を減じた値を残水量として記した。

⑨ 切断の容易さ

事務用ハサミ、裁ちバサミ、カッターナイフを用いた切断テストを、男性8名、女性12名、計20名が行った。評価にブレはほとんどなかった。

実際の手術でご使用いただいた評価

手術看護学会や日本褥瘡学会の各大会で応募いただいた12病院230手術で、低反発ウレタンとの比較評価をグラフ化したものです。(小数点以下は四捨五入)

